

熊本市の指定文化財等（北区）

2020年12月25日現在

指定	指定区分			名称	指定年月日	所在地
	国	記念物	遺跡			
国	記念物	遺跡	史跡	釜尾古墳	大正10年3月3日	北区釜尾町
国	記念物	遺跡	史跡	西南戦争遺跡	平成25年3月27日	北区植木町豊岡他
国	登録有形文化財			熊本市水道記念館（旧八景水谷貯水池ポンプ場）	平成9年5月7日	北区八景水谷1丁目
県	有形文化財	建造物		船底五輪塔附板碑	昭和39年3月10日	北区植木町豊岡
県	有形文化財	建造物		円台寺の石造笠塔婆	昭和40年2月25日	北区植木町円台寺
県	有形文化財	有形文化財	彫刻	木造及び銅造懸仏	昭和62年11月12日	北区植木町那知（那知熊野座神社） 県立美術館寄託
県	有形文化財	有形文化財	彫刻	木造獅子頭	昭和62年11月12日	北区植木町那知（那知熊野座神社） 県立美術館寄託
県	有形文化財	美術工芸品	工芸品	太刀 延寿国日出	昭和40年2月25日	北区龍田3丁目
県	有形文化財	美術工芸品	工芸品	活人形谷汲観音像	昭和36年11月21日	北区高平2丁目
県	記念物	遺跡	史跡	稻荷山古墳	昭和49年3月23日	北区打越町
県	記念物	遺跡	史跡	明德官軍墓地	昭和52年10月11日	北区明德町
県	記念物	遺跡	史跡	円台寺磨崖仏群	昭和40年2月25日	北区植木町円台寺
県	記念物	遺跡	史跡	慈恩寺経塚古墳	昭和49年5月8日	北区植木町米塚
県	記念物	遺跡	史跡	七本官軍墓地	昭和58年1月18日	北区植木町轟
県	記念物	動植物・地質鉱物	天然記念物	寂心さんの樟	昭和49年5月8日	北区北迫町
県	記念物	動植物・地質鉱物	天然記念物	滴水のイチョウ	昭和53年6月17日	北区植木町滴水
市	有形文化財	建造物		四方寄六地藏	平成4年3月26日	北区四方寄町
市	有形文化財	建造物		平井宮庚申塔	平成4年3月26日	北区楠野町（楠原神社内）
市	有形文化財	建造物		御馬下の角小屋	平成4年3月26日	北区四方寄町
市	有形文化財	建造物		鞍掛字阿弥陀堂の板碑	平成23年3月28日	北区植木町鞍掛



熊本市ホームページ
(熊本市指定文化財等)

指定	指定区分			名称	指定年月日	所在地
市	有形文化財	建造物		豊岡の眼鏡橋	平成23年4月28日	北区植木町鈴麦・豊岡
市	有形文化財	建造物		服部の五輪塔	平成24年1月27日	北区植木町豊田
市	有形文化財	建造物		砥石の宝篋印塔	平成24年5月1日	北区植木町清水
市	有形文化財	建造物		田原の五輪塔附板碑	平成24年7月31日	北区植木町豊岡
市	有形文化財	建造物		舞尾の六地藏板碑	平成24年7月31日	北区植木町舞尾
市	有形文化財	美術工芸品	彫刻	木造虚空蔵菩薩坐像	昭和58年3月23日	北区龍田2丁目
市	有形文化財	美術工芸品	彫刻	木造千手観音立像	平成31年1月28日	北区立福寺町
市	有形文化財	美術工芸品	彫刻	菱形八幡宮神像群	令和2年12月25日	北区植木町円台寺（菱形八幡宮） 県立美術館寄託
市	有形文化財	美術工芸品	考古資料	越州窯青磁水注及び共伴須恵器（塔ノ本遺跡土壌墓出土品）	平成25年3月27日	北区植木町岩野
市	民俗文化財	無形民俗文化財		柚木神楽	平成4年3月26日	北区硯川町（柚木菅原神社）
市	民俗文化財	無形民俗文化財		立福寺神楽	平成4年3月26日	北区立福寺町（立福寺菅原神社）
市	民俗文化財	無形民俗文化財		明德神楽	平成4年3月26日	北区明德町（熊野神社）
市	民俗文化財	無形民俗文化財		清水菅原神社神楽	平成24年3月27日	北区植木町清水
市	記念物	遺跡	史跡	井上横穴群	平成4年3月26日	北区改寄町
市	記念物	遺跡	史跡	平島支石墓	平成23年3月28日	北区植木町田底
市	記念物	遺跡	史跡	高熊古墳	平成23年3月28日	北区植木町古閑
市	記念物	名勝地	名勝及び史跡	瑞巖寺跡	平成4年3月26日	北区貢町
市	記念物	動植物・地質鉱物	天然記念物	釜尾天神のイチイガン	平成4年3月26日	北区釜尾町
市	記念物	動植物・地質鉱物	天然記念物	徳王の桜	平成7年4月28日	北区徳王町
市	記念物	動植物・地質鉱物	天然記念物	宮原菅原神社のイチイガン	平成23年3月28日	北区植木町宮原

◆熊本市無形民俗文化財(北区)

◇柚木神楽(ゆのきかぐら)

10月15日の柚木神社秋祭りに行われる。昭和初期に柚木神社管掌の神職によって招来され、盛時には周辺 の村々に請われて奉納して廻った。肥後神楽であるが、一般的な12座(三座、真栄木、剣弓、二剣、二剣二弓、長幣、宝剣、神饌歌、双弓、四剣、国津、地鎮)に祓い神楽が加わっている。

◇立福寺神楽(りゅうふくじかぐら)

昭和初期より始められたといい、10月15日立福寺の秋祭りのとき下組の菅原神社及び上組の伊邪那岐神社に奉納されるもので肥後神楽である。13座からなる(三座、真栄木、剣弓、二剣、二剣二弓、長幣、宝剣、神饌歌、双弓、四剣、国津、地鎮、祓い)。

◇明德神楽(めいとくかぐら)

11月15日に熊野神社秋祭りで行われる。肥後神楽で13座からなる(三座、真栄木、剣弓、二剣、二剣二弓、長幣、宝剣、神饌歌、双弓、四剣、国津、地鎮、祓い)。昭和初期より始められたといい、明德の氏子によって継承されている。

◇清水菅原神社神楽(きよみずすがわらじんじゃかぐら)

肥後神楽は江戸後期神職によって舞われていたが、明治のころから各地区の氏子により奉納継承されてきた。この清水菅原神社神楽も明治初期に地区の有志が熊本市北岡神社等で習得してきたもので、肥後神楽系の神楽として伝承されている。かつて旧植木町の数地区で舞われていたが、現在は清水地区のみである。

肥後神楽のクライマックスは大国主命と神主が問答を交わす国津の舞です。国津では大国主命が鬼面を付けて登場しますが、この面はそれぞれ異なったデザインで各地の個性が表れています。複数の神楽を比べてみてはいかがでしょうか。

◆熊本市郷土文化財(北区)

◇伊邪那岐神社米おし(いざなぎじんじゃこめおし)

毎年10月15日に行われる伊邪那岐神社の秋祭りの一部であり、五穀豊穡に対する神への感謝を表すもの。

しめ縄をめぐらせた桶を神社の拝殿の中央に置き、それに米が投入されると男性陣が飛びつき、米を掴んでは周囲にまき散らす。桶を中心に男性陣がひしめき合い、男性陣はもちろん、周囲の人々も大いに盛り上がり大声が飛び交う。桶が空になると、袴に袴をつけた座親(祭りは4戸の座元が執り行い、座元の中心となる人物を座親と言う)が胴上げされる。米おしは3回行われ、2回目には来年の座親を胴上げし、3回目には空になった桶を掲げる。まき散らした米には無病息災の効き目があると伝わり、その場で食べる参拝者もいる。